

聖化

Japan Holiness Association

[発行] 日本聖化協力会

2013.9.27
No. 54



うちに生きておられる主

基督兄弟団 福岡教会牧師 福永雄二

九州の地で聖化の集會が行われるようになったきっかけは日本聖化交友會(当時)による聖化大会、セミナーが1988年に熊本で、翌89年に福岡で行われたことによります。出席者の中に九州にも聖化の働きを進めていこうという思いが起こされ、翌年、九州聖化交友會が発足し、第1回九州聖化大会が開催されました。早いもので今年第24回を数えます。九州での聖化の働きも早、四半世紀となりました。会長を2010年までは國重雅治師がされていましたが、世代交代の中、11年には山崎忍師に代わりました。翌年、山崎師の転任に伴って福永が受け継ぎました。

「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きておられるのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです」(ガラテヤ二・20)。私自身はこのみことばに立って、うちに生きておられる主とともに歩んでいこうと決心しました。それまで聖化について考えさせられていたことは、「……しなければならぬ」「……してはいけない」といった行動が重要であるということでした。です

から、聖化を求めていくことは、見た目を気にしなればならないことと、そのためには行動で束縛された生活を送らなければならないということでした。しかし、そうではなく、先ほどのみことばが与えられた時から、聖化に対する考え方が変わってきました。聖化とは主を愛し受け入れていくこと、同じことを周りの人たちにも心がけていくこと、主に従い、明け渡すことが重要であるということなのだということを知りました。それも、自分の力ではなく、内住の主ご自身の力によってなされることであることを悟りました。その時の状況は、まさに目からウロコが落ちる思いでした。

その後は順調な生活を送り続けたのかというと、そうではありません。時には精神的な苦しみにも遭いました。そのような中でも「わたしがあなたがたを休ませてあげます」という励ましをいただくことによって、守られ、耐えることができました。最終的な目標は主の似姿に近づくことです。もちろん、同じになることはできませんが、限りなく近づくことは可能です。そのような気持ちを持ちながら、聖化の生涯を全うしていきたいと願っております。

もくじ

- 巻頭言メッセージ…………… p.1
- 論説：キリストを信じる無神論者からの脱出… p.2-3
- 証し：私のアルダースゲート …… p.4-5
- 創立 30 周年記念聖化大会…………… p.6
- カベージ博士紹介、新刊書紹介 …… p.7
- 秋の聖化大会日程、編集後記…………… p.8

論説

キリストを信じる無神論者からの脱出

ウェスレアン・ホーリネス教団 習志野キリスト教会牧師 山田 泉

今回のKJHA青年大会のテーマは「脱無神論」。クレイグ・グローシエル著『キリストを信じる無神論者』から取られたそうです。本を手にとりますと、帯の部分に「神を信じているけれども、いつも心配ばかりしていませんか。神を信じているけれども、自分のことばかり優先していませんか。神を信じているけれども、自分が変われないと思っ
ていませんか」とあり、無神論とはそういう意味でのことと理解しました。その本の最初の箇所に、「本当は認めたくないことですが、私の中にもこのような無神論者は存在します。キリストを信じる無神論者はどこにもいます」と、著者自身が告白しています。このテーマを前にして、どこか構えていた私は、「ほっ」と一息つきました。「このようなクリスチャンはどこにもいません。」この言葉は、私たちの隠す心や孤立から解放してくれます。しかし、この本の最後には、こう記されています。「私は、この世のもので、天国にある宝より大切なものはありません。神を畏れる以上に、何かを恐れることはありません。私は違う人間になりました。あなたも、そうなれます。」

どうして無神論者のような信仰者になってしまうのでしょうか。私の場合を見てみます。私は14歳のイースターに父から洗礼を受けました。パツとしない教会でしたので、親孝行の私は、親のために私が受洗者になろうと決意しました。神さまのことを信じているから問題ないでしょう、と思っただけです。しかし問題は大きかったです。まず、自分がクリスチャンであることを言えなかった。友人（特に男性の）から、「神さまを信じているの？」と尋ねられると、「家は教会だけど私は別に……」。若かったあの頃、マイノリティーな立場が、意味も無く恥ずかしく思えたのです。そしてもう一つ、私は信仰の力を知らなかったのです。信仰が際だって力を発揮する時、それは天国の門を通過する時です。以前、遠方の友人を訪ねたとき、一日フリーパス乗車券を買うよう言われました。あちこち連れて行ってくれる都度、フリーパス乗車券は私のために自動改札をパツと開かせるのです。その日一日、私はポケットの中に乗車券があることを絶えず確かめ、切符がヨレヨレにならないよう気を配りました。そうでしょ、このチケットは私が乗るべき電車の改札を瞬時に開いてくれるのですから。私たちの持っている信仰、出るところに出たら、行くところに行ったら、「本当に持っていて良かった！」と、喜び踊って感謝することになるものです。第一テサロニケ四章16節に「合図の号令がかかり、大天使の声が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主御自身が天から降って来られます。すると、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し、それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます」と、とても具体的にその時のことが書かれています。これ、信仰をちゃんと持っているあなたに起こることですよ。私たちが信仰を恥じた
り、粗末に扱ったり、無くしてもいいかのように思ってしまうのは、信仰の力を知らないからです。信仰を持ってよかったです、無くしてしまっただんなに大変なことになってしまったか、ということ必ず、必ず知る時が来ます。この時のことを思い描いては、無神論の状態にはならないと祈りま



2013年5月26日に東京・中目黒で開催された関東聖化交友会・青年大会での講演を再録いたしました。当日集まった青年たちから、多くの恵みを受けたとのレスポンスがありました。ならば、ぜひ全国の青年たちに同じ恵みをお届けしたいと思い、山田泉先生に当日の講演をまとめていただきました。講演ですが、先生のお証しでもあります。

現代の青年クリスチャンが抱えている現実、悩み、不安を私たちも共有し、またそうした課題を自分のこととしてとらえ直して、いっしょに聖化の恵みを追求することができれば、これに勝る幸いはありません。

しょう。また感謝なことは、あなたのために、命をかけて御国に入るようにと十字架にかかってくたさった主イエスは、絶えず祈ってくださいます。「わたしはあなたのために、信仰がなくならないように祈った」(ルカ二二章32節)と。わたし自身が祈ることもできないほど無神論の状態に陥ることがあっても、それで終わりにしようとはなさらないのが主です。今、もし無神論状態の信仰だと気がついていたら、あなたのために祈ってくださる主にすがりましょう。そこからでも主はあなたを命に繋いでくださいます。

信仰は、今の時に働く力が、またすばらしいのです。

私は小さな教会の牧師をしています。が、人々にはみな問題を抱えています。家庭、友人、恋人、学校、会社、自分、ご近所、お金、将来、健康などなど、悩んでいます。なぜですか、何が原因ですか。それはおおよそ「人」が原因です。あれが違う、ここが気が障るなどと、人と寄り添えない自分がいます。相手の心や気持ちを抑えられないばかりか、争い、つぶし、つぶされてしまいます。

どうしたら争うのでなく理解を、ずれてしまわないでなく和解・和合をしていけるようになるのでしょうか。主イエスははっきりと語っておられるではないですか。「あなたを人間をとる漁師にしてあげよう」(マタイ五章19節)と。人間をとれる者になるなんてすごいではないですか。私たち、人間をとれなくて苦労しているのですから。主は私たちを、様々な人に対して、様々な事に対して、人を捕らえる者としてくださいます。やり方を教えてくれるのではなく、やれる者にしてくださいのです。漁師だったペテロたちが、やがて宣教をし、人の心を抑えることができたことが、その実証です。パウロもそうしていただいた一人でした。

「私は誰に対しても自由な者ですが、すべての人の奴隷になりました。できるだけ多くの人を得るためです。…弱い人に対しては弱い人のようになりました。弱い人を得るためです。全ての人に対してはすべての者になりました。何とかして何人かでも救うためです。」(第一コリント九章19〜23節)

あなたが相手をやっつけてしまう強さを持っているなら、主は柔らかい者

にして、頑かたな相手にも寄り添うことができるようにしてください。意地悪な人には下手したに出る力を、面倒な人には忍耐の心をください。主はあなたを変えて、人々と心繋がる者に、そうして人間をとる者にすることができるとです。

「あなたを人間をとる漁師にしよう。」この声は、ある日、私が聞いた声でした。その時の人間とは私自身のことでした。自分という人間に悩んでいる時でした。

あなたが自分の性格、生活、習慣、悪癖など、今の自分の状態を嫌だと思っているなら、そんな自分をしっかりと捕らえることのできる者にしようと、主は言ってくださるのです。主はあなたの人間関係が、他者であっても、自分自身であっても、人間をとる者にしてください。

さあ今、あなたのために信仰が無くならないようにと祈ってくださいる主に、宜しく願います、と心を合わせて祈りましょう。無神論に陥おちることは誰にもあるというのなら、何度でも何度でも、あなたのために祈っておられる主に助けられて立ち上がりましょう。

昭和のリバイバルの頃、ホーリネス教会は北海道の片田舎まで積極的に伝道し、お蔭で私の両親も主の救いに与りました。

昭和7年、巡回伝道に來られた中田重治監督がオホーツク海に面する寒村、興部村の天幕伝道集会で説教されたとき、母は確かな信仰を握ったとのこと。そして興部川で両親は揃って洗礼の恵みに与りました。その時6歳上の兄は母のお腹におりました。父は海陸物産商を営んでおりましたが、昭和初期の世界恐慌が北海道の片田舎にまで及び、店は倒産し、一家を上げて札幌に移りました。以来、札幌新生教会の伊藤馨師の導きを頂きました。

私は8番目の末っ子として札幌で生まれました。やがて日本は太平洋戦争に突入し、ホーリネス教会への国家の弾圧が起り、伊藤牧師は投獄され、やがて教会も解散させられました。会堂での礼拝が許されなくなり、きょうが最後という日に、N姉が立ち上がり「来週から我が家に来てください」という呼びかけに、10名ほどの信徒が応えました。我が家はN家の近くにあつたので、N家と交替で礼拝が守られるようになりました。伊藤須磨師は集会に出ることを禁じられ、信徒のみの集会でした。この秘密の集会は、戦後の伝道の再開まで2年半ほど続けられ、これが戦後の復興の土台となりました。

*

戦後の復興礼拝は、昭和20年12月2日に始められ、この日からホーリネス系のいくつかの教会が再出発しました。日曜学校もスタートして、大勢の子どもたちが集まりました。私も市電に乗って通いました。

きよめの証し

私のアルダスゲート



アルダスゲート街

日本基督教団 仙台青葉荘牧師

島 隆三

中学生になってからは、大人の礼拝に出るようになりましたが、まだ信仰は幼稚でした。我が家では、毎日家拝があり、順番に聖書朗読や祈りをさせられました。しかし、自覚的な信仰とは言いがたいものでした。しかし、中学3年くらいになると、自分でも洗礼について考え始め、高校1年のクリスマスに日曜学校の友人たちと伊藤先生から受洗しました。しかし、クリスチャンとしてのスタートを切っても、信仰は依然として明確ではなかったのに、日曜学校の教師が不足したためか、教師助手になるように勧められ、見よう見まねで教師の真似事をしておりました。しかし、子どもたちの前で聖書の話をするとき、本当にお前は信じているのか、自分が信じていることを子どもたちに話しているのかという内なる問いかけがありました。

*

そういう曖昧な信仰で大学生になり、いやでも青年会の中心グループの一人になり、また、大学では学生YMCAに所属して、先輩や同期の仲間たちと聖研などもしておりました。外向きはクリスチャン顔をしながら、心の内には確信がなかったのです。教会では、毎年夏と新年に聖会が開かれ、ホーリネス信仰が力強く語られました。それから、私も熱心に出席して確信を求めて祈りました。聖会にはホーリネス系の長老の牧師たちが、交替でお出でくださいました。明確にきよめを説かれる米田豊師や小原十三司師らとともに、伊藤先生の親友であった東京のS師もしばしばお出でくださいました。S師はきよめの信仰に躓き、群から出て行かれた方でしたが、伊藤

先生はそういう人も抱え込んで一緒にやろうという太っ腹な方でした。

*

私のぐずぐずした信仰も、聖会で燃やされましたが、まだ明確な確信に到達できないまま、浮き沈みの多い信仰生活を送っていました。しかし、次第にそういう偽善的な生活に耐えられなくなり、どこかで決着をつけねばならないと思うようになって、一つの決心をしました。それは今まで一度もしたことがない真実の自分の気持ちをおりのままに告白しようと決心したのです。誰にそれをするかが問題ですが、牧師にはとても話せない、友だちや先輩にも躊躇する思いがあり、話せるのはたった一人の兄だけだと心に決めました。この兄は戦後、中学生の時に肺結核にかかり、学校にも行けずに入退院を繰り返しました。長兄も長姉も結核で死にましたから、今度は自分の番だという恐れは当然あったでしょう。しかし、信仰に熱心な兄で、病床で真剣に祈り、病気が癒されたら牧師になろうという献身の思いを持っていました。しかし、病状は一進一退の日々でしたが、その頃、結核の新薬が出来たというニュースが我が家にも飛び込んできました。まだ一般には普及していないストレプトマイシンを、伊藤先生がアメリカの葛原定市師を通して送って頂いたのです。注射を1本、2本と打つうちに目に見えるように癒やされ、私たちも目を見張りました。ところが肉体が健康になるに従って、兄の心が病気になる、信仰に懐疑が芽生え、献身も途中で挫折せざるを得ませんでした。その頃、伊藤先生と何度も分厚い手紙のやり取



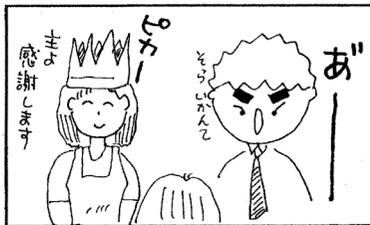
りをしていたのでよく覚えています。そして、ある時兄は、自分は神に頼らないで生きていくという不信宣言をしてしまったのです。私は兄を深く尊敬しておりまして、兄の信仰の躓きは大きな心の痛みでした。しかし、自分はどうなのだ。私は私なりに教会生活を送っていました。自分の不信や罪を思うと、自分だけが優等生面で良いのかと思われて、そう、兄に手紙を書くうと決心したので。

学生でしたから時間になりました。そこで、部屋に閉じこもり、1週間かそれ以上も手紙書きに専心し、それはいつしか涙の手紙になりました。口では言えないことも、手紙では正直に書くことができました。不信告白のつもりで書き始めた手紙が、いつしか自分なりの信仰告白になりました。その手紙を書きながら、そうか、主イエスはすべてをご存じなのだ、不信な私をも愛し受け入れて下さっているのだ、だから主に委ねればよいのだ、という信仰を握ることができました。それは聖霊に包まれるような、心温められる経験でした。それから聖書を真剣に読むようになり、また分かるようになりました。

後にウエスレーのアルダスゲートの経験を知ったときに、私にも小さなアルダスゲートを主は備えて下さったのだと感謝しました。以来、自分の救いや神を疑うことから解放され、主の平和が与えられたことを感謝しております。私にとっては忘れがたい一つの聖霊経験として証しさせて頂きました。

詩編三二編5節、フィリピ四章6、7節。

直次郎 いそん



©富無尽蔵

日本聖化協力会
創立30周年記念全国聖化大会 2015年10月12日

記念式典と聖化大会



日本聖化交友会が結成されてから、2015年には30周年を迎えます。これを記念して創立30周年の全国聖化大会を開催します。日程は10月12日(月・祝日)です。会場は青山学院大学ガウチャー記念礼拝堂を予定しています。講師には、第一回の聖化大会でメッセージを語ってくださったジョン・N・オズワルト博士をお迎えします。博士はアズベリー神学校、トリニティ神学

校、ウエスレアン・ビブlical神学校などで旧約聖書を教え、アズベリー神学校の学長を務められた器です。著書は、ディボーション的なものから注解書まで、幅広く執筆し、新国際訳聖書(NIV)の翻訳プロジェクトにも携わり、数多くの論文を執筆されています。日本聖化協力会出版委員会から、2009年に『聖き』を生きる人々』が翻訳出版されています。記念聖化大会は、30周年の記念式典、聖会I、II、さらにパネル・ディスカッションなど、多彩なプログラムを予定しています。全国の聖化交友会から、多くの会員の皆さまの参加を願っております。詳細は追ってご案内いたします。

創立30周年出版新企画のご案内

聖書に根ざしたきよめを追求する
日本聖化協力会の牧師たちによる説教集

『聖化の説教 旧約編I』

全3巻を予定 刊行準備中!

好評を博した『ホーリネス——牧師15人のメッセージ』に続いて、出版委員会では、新企画の説教集第一弾としてこの秋に、21のホーリネス説教を載せた『聖化の説教 旧約編I』を出版します。今回は、旧約編Iとして創世記からエステル記までをカバーしています。執筆の先生方には、ご自分の教会の礼拝で説教するような内容でお願いし

ました。ですから、大きな聖会ではなく、普段着の、牧会的な配慮に満ちた説教になっています。聖書のどこを開いても聞こえてくる聖化のメッセージを汲み上げていただきました。それぞれの説教は短くまとめたばかり、旧約聖書からまんべんなく聞き取れるようにしました。ぜひ教会員の皆さまにも読んでいただきたいと思えます。今後のことですが、来年の秋には『聖化の説教 旧約編II』を出します。ヨブ記からマラキ書までをカバーすることになります。創立30周年の年2015年には『聖化の説教 新約編』を出す予定です。3年がかりですので、全3巻の出版まで少し時間がかかりますが、ご期待ください。



アラン・カページ博士プロフィール Dr. Allan Coppedge Ph.D.

2013年 聖化大会に講師としてお迎えする



アラン・カページ博士は、1965年にエモリー大学で学士、1967年にエジンバラ大学で神学士、1969年にアズベリー神学校で教育学修士、1977年にケンブリッジ大学で哲学博士の学位を取得され、その後ジョン・ホプキンス大学で博士号取得後の学びを終了されました。米国メソジスト合同教団の北ジョージア教区の長老であり、ジョージアとケンタッキーにおいて牧会経験を持ち、中央及び南アメリカ、英国で幅広く説教者として用いられています。諸神学校、大学、教会、宣教団体における弟子作りを推進するために作られたバルナバ財団の創立者であり総裁です。また、フランシス・アズベリー協会の初代総裁でもあられます。

カページ博士は、ケンタッキー州ウイルモアのアズベリー神学校で、1977年以来キリスト教神学を教えておられます。クラスの中でも外でも豊富な経験をお持ちです。アズベリー神学校の教鞭を取る前には、南アメリカのコロンビア聖書神学校で、学監を務め、そこにおいて東洋宣教会（OMS）の宣教師としても働かれました。多くの聖会、キャンプ、特別集会で説教をしておられます。

カページ博士の著書として、「神の横顔——ホーリネスの聖書的神学」、「ジョン・ウェスレーの神学的論争」、「弟子の道」、「神の像のように」、「あなたがたへの神の目的」など多くを著しておられます。

カページ博士はベス夫人との間に4人のお子さんがおられます。

新刊書紹介

イムヌエル総合伝道団 出版事業部



定価：本体 1500 円＋税

神さまイメージ 豊かさ再発見

イムヌエル聖宣神学院院長 河村 從彦著

この本は神さまイメージについて紹介する本です。聖書から始まり、後半は心理臨床に話が進みます。著者が、神さまイメージを分析するために用いたのは、この秋の聖化大会に講師としてお迎えしたアラン・カページ先生の提示された「神さまの八つの役割」です。図表で解説されていますのでぜひ読んでください。この本は、先生の講演を理解する上でも助けとなるはずです。

本書は、私たちが抱く神さまイメージがもたらす豊かな恵みの世界を描いています。副題に示されているように、それが聖書と心理臨床という、私たちにはあまり馴染みのない取り合わせのもとで展開されてい

ます。カページ先生は神さまイメージの八つの役割を用いて、私たちの前に神さまという鏡を置いてくれています。信仰は神さまを見上げるだけでなく、自身自身も見なければなりません。（「あとがき」より）

聖化大会講師の著書

イムヌエル出版事業部発行



弟子の道 その聖書的原則

アラン・カページ著 南場良文訳

240 ページ 定価：1,800 円+税

- ● ● 本書は弟子作りのマニュアルではない。むしろ、弟子の道を実践するための
- ● ● 土台となるべき、霊的な基礎を提供するものである。ここに示された聖書的
- ● ● 原則が、実際経験においても効果的であり、有効であることを明らかにする。

2013 年秋に開催される聖化大会

大会名	期日	講師	会場
札幌 25周年記念大会	10/18	カページ博士	北海道クリスチャンセンター
関東 第28回 関東聖化大会	10/20~22	カページ博士	IGM 中目黒教会
東海 第26回 東海聖化大会	10/24	カページ博士	IGM 名古屋教会
大阪 第65回 Wに学ぶ会	10/25	カページ博士	ナザレン大阪桃谷教会
岡山 第11回 岡山聖化大会	10/27	カページ博士	日本イエス 岡南教会
九州 第24回 九州聖化大会	10/29	カページ博士	兄弟団 福岡教会

* 聖化大会についての詳細は、日本聖化協会のホームページをご覧ください。各地域の聖化交友会のご案内が掲載されています。http://jha.christ.gr.jp/

お近くの聖化交友会にご加入ください

聖化交友会には教会、あるいは個人でお加わりいただけます。聖化の恵みを教会に、お住まいの地域に広げていきましょう。詳細は各地域の聖化交友会にお問い合わせください。

北海道聖化大会／宮城聖化交友会／山形聖化交友会／栃木聖化交友会／関東聖化交友会／東海聖化交友会／ジョン・ウエスレーに学ぶ会／岡山聖化交友会／四国聖化交友会／九州聖化交友会

続々と、電子書籍化を進めます！

電子書籍化第一弾、「エマオの道で」を販売中です。Amazon Kindle ストアで検索してください。

エマオの道で 365日の霊想

デニス・F・キンロー著
三、四〇〇円+税



牧会者、伝道者として、聖書学者、神学者として、幅広くキリストに仕える著者が、時には説教のように、時にはエッセイのように、証しや体験談を交えて神の恵みを語る。

生にお願いしました。とても読みやすく読み応えのある論説です。執筆の先生方、感謝です。

先日、30周年記念大会会場確保のため、青山学院に行ってきました。希望はガウチャー記念礼拝堂なのですが、大学の授業との関係でまだわかりません。どうぞお祈りください。(矢木良雄)

編集後記

聖化 54 号をお届けします。巻頭言は若手の先生方を代表して、九州聖化交友会会長の福永雄二先生が証しを交えて書いてくださいました。きよめの証しは、ベテランの島隆三先生です。論説は青年大会で講演して下さった山田泉先

聖化 No.54 2013 年 9 月 27 日発行

発行 日本聖化協会 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル 電話/Fax 03 (3293) 5130
E-mail kjha1985@aria.ocn.ne.jp URL http://jha.christ.gr.jp/ 編集担当：矢木良雄／錦織 寛